

実践事例【小中連携】 学力向上特配活用による小中連携の取り組み

桐生市立梅田中学校

平成 27 年度より学力向上特配が数学科で本校に配置され、梅田南小学校と本校とで兼務教員が乗り入れ指導を行なっている。また、他の分野でも始めている連携の取り組みを紹介する。

1 小中連携のねらい <数学科で学力向上特配を活用した乗り入れ授業の実施>

- ・ 小学校での連携は、中学校の特配教員と梅田南小5年生担任、さらに学習支援員の3名できめ細かな授業を実施し、基礎基本の定着にかかる児童の学力の底上げを目指す。
- ・ 中学校での活用は、全学年で、数学科教諭2名と他教科1名の3名できめ細かな授業を実施し、基礎基本の定着にかかる生徒の学力の底上げを目指す。
- ・ 9年間を通じて、小・中学校の職員が指導の在り方について共通認識を持った上で授業を行なう。
- ・ 習熟度別・少人数学習では、学習のつまづきの解消や計算力、読解力、活用力の向上を図る。
- ・ 日常的な授業改善では、教科で日常的に授業を検討し、教材研究を行う事で授業改善を図る。

2 算数での連携 <算数授業を内容別に分担>

- ・ 内容の分担……中学校特配教員と南小5年生担任とで内容種別に指導を分担。
 - (1) 特配教諭が T1 指導……主に学習内容が中学校で発展的に扱われる内容項目のもの。
 - (2) 5年担任が T1 指導……主に学習内容が小学校でしっかりと指導すべき単元のもの。



図1 中学校特配教諭がT1の授業

3 他分野の連携 <他分野での小中連携を申し合わせる>

年度初めに両校の校長で話し合い、今年度は以下の6項目で連携して取り組む事を申し合わせる。

連携1：互いの授業参観

両校の教諭が互いに授業を参観し合い、生徒の実態や日々の成長や変化を見取り、互いの学校運営や授業計画に活かす。

互いの参観は、市教委による指導訪問や保護者会時の授業参観さらに「確かな学力」実践授業公開等を中心に互いに無理のない日程を選んで行う。

連携2：両校職員の話し合い

両校の教諭が児童生徒の学習指導や生徒指導の課題を共有するため、両校の全教諭が集まり生徒情報の交換と他分野での連携を進める話し合いを行う。

① 情報交換会

小学校・中学校の生徒個々の情報（生活面・学習面・家庭環境等）について互いに情報交換を行う。

② 9年間のルール作り

9年間の学びを見通した学習や生活規律を小中で統一し、中学校進学に伴う不安解消や中1ギャップ解消に向けた生徒指導のためのルール作り。

③ 学習の手引き作り

家庭学習の充実を目指して、小中が協力して互いに「家庭学習の手引き」を作り、使いながら改良していく。

連携3：入学説明会

事前に入学説明会で新入生が不安に思っている事や学校生活に期待している事等の「学校生活アンケート」を実施し、生徒会長がそれに回答する。

連携4：自主学習会

夏休み初めの自主学習会に小学校教諭が参観指導する。

連携5：体験授業

梅田中学校卒業式後の中学校授業参観日に合わせて、梅南小学6年生が中学校の授業を体験する。

連携6：6年生に卒業後の課題

・ 小学校卒業後から中学校入学式までの間の学習の空白を作らないために小学校が用意して課題（算数・国語）を配布。中学校で回収し、中1で新学期からの指導に活かす。

4 連携の成果 <実施できた小中連携ときめ細かな指導の成果と課題>

・**連携1の成果**は、現在までに小学校から中学校へ2度、中学校から小学校へ3度の授業参観を行っている。児童生徒は新学期当初と比べて成長の様子が見られ、授業への取り組みが良くなっている。また、実際の授業、生徒の実態を見ることで互いの授業づくりの参考ともなっている。

・**連携2の成果**は、夏休みに中学校で実施した生徒情報交換会では、両校に兄妹で在籍する生徒の問題行動に対し、詳細な指導経緯の報告から新事実の発見など、今後の指導に役立つ情報交換ができ有益な場となった。

また、右図2の「**小中9年間の生活・学習のルール**」作りでは、両校で持ち寄った生活の決まりをベースにして教頭、教務、生徒指導主事間で話し合い完成間近である。

さらに、右図3の「**家庭学習の手引き**」では、当初は今年度の作成予定だったが、急遽昨年度末までに作成し生徒へ配布した。それを1年かけて生徒が使いやすく、読んでみたくなる手引きに、改良をしていく。

・**連携4**では、今回は小学校側で職員の調整ができずに、中学校職員のみで在校生への指導を行なった。

・**連携3、5、6**は、今後の実施を予定している。

・**算数での連携**の詳細は梅田小学校の Web 資料を参照。

とにもかくにも、中学校の特配教諭の様子は、小学校での授業準備に日々教材研究を重ね、教材プリントや教材づくりを行い、掲示用に作った大きな教材を抱えてフットワーク良く両校を行ったり来たりしている。

・**中学校での活用**<数学科での学力向上特配を活用したきめ細かな指導>

- ・3年生の、基礎基本の定着にかかる生徒の中には、受験の時期と相まって細かな指導を行うことで理解度が上がり、学習へ意欲的に取り組もうとする生徒が見られる。
- ・小、中9年間のカリキュラムを見通して、いつから積み上げてきた教材かを生徒に振り返りさせながら、効率的に単元の導入や指導をすることができた。
- ・少人数指導により、生徒が毎時間複数回指名されることになり、緊張感を持たせることができた。さらにそれぞれの生徒の理解度を把握しながら授業を進めることもできた。
- ・日常的な授業改善では、少人数学習において、教師がお互いの学習進度を調整する際に授業の「ねらい」を確認し合える。提出物や課題、試験などを複数の目で評価の観点、基準を確認することができる。

・1、2年生では、授業では理解できていた生徒も、家庭での振り返りができていないために、小テストで学習の未定着が明らかになることの繰り返しになってしまっている。

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中1年
あいさつ	<input type="checkbox"/> 先生や友達におはようございます」「さようなら」を言う。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。	<input type="checkbox"/> 先生や友達に元気づけよう。
言葉づかい	<input type="checkbox"/> 「〇〇です」「〇〇です」を使い、丁寧な言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。	<input type="checkbox"/> 友達には「くん」「さん」を付け、優しい言葉づかいをする。
整理・整頓	<input type="checkbox"/> 自分で使ったものを片付ける。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。	<input type="checkbox"/> 机やロッカーの中を整理・整頓する。
清掃	<input type="checkbox"/> ほうきや雑巾を正しく使い掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。	<input type="checkbox"/> 分担に責任をもち、決められた時間内に掃除する。
おもいやり	<input type="checkbox"/> 「ありがとう」「ごめん」を言う。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。	<input type="checkbox"/> 仲間はずれをつくらず、誰とも仲良くする。

図2 生活・学習のルール

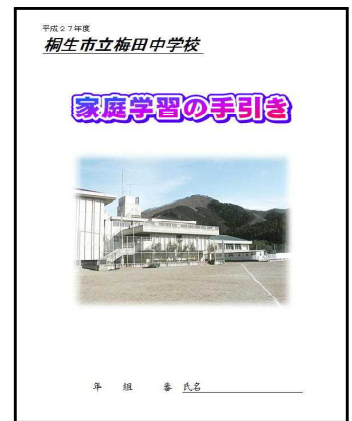


図3 家庭学習の手引き

5 課題と今後の予定 <今までに見えてきた課題と、これからの予定と連携の見直し>

(1) 課題

- ・小学校と中学校で互いに授業参観後に、指導技術の交流を考えていたが合同研修の実施等ではできていない。何らかのフィードバックの方法を考えていきたい。
- ・小中連携の企画立案や連絡調整役に特配教員を当てる予定であったが、昨年度末の計画段階では人が決まっておらず、本人の負担が大きいことが分かり、管理職主導で実施と運営を行っている。

(2) 今後の予定

- ・今年度予定した連携はほぼ予定通り実施できており、今後も**連携3、5、6**を計画的に進めていきたい。また、来年度に向けた連携の推進には現在までを総括し、連携を発展させていくための話し合いを進めていきたい。